

もっと住みよいまちへ…

広がるまちづくり活動

～地域のまちづくりをみんなで考えてみませんか～



手稲区では、「住んでいて良かった」と実感できる“ふるさと手稲”の実現を目指し、住民の皆さんと情報を共有しながら、まちづくりに取り組んでいます。

そこで今回は、地域の方が主体となって地域の課題解決に取り組むまちづくり活動の様子をご紹介します。

地域の課題って？

例えば・・・

不審者の発生など子ども
の登下校時に不安

近所の川や林に
不法投棄が多い

災害時の避難
が心配

地域にある風景や自
然を守り育てたい

一人暮らしのお年寄り
などの安否が気になる

皆さんが普段何気なく不安に思っていることや困っていること、「もっとこうだったらいいのに・・・」と思うことなどが地域の課題です。

課題に取り組む活動団体があります

地域課題の解決はひとりでは難しいもの。そこで目的を同じくする人たちが、集まって団体を作りさまざまな活動をしています。

町内会、老人クラブ
青少年育成委員会、
民生児童委員協議会

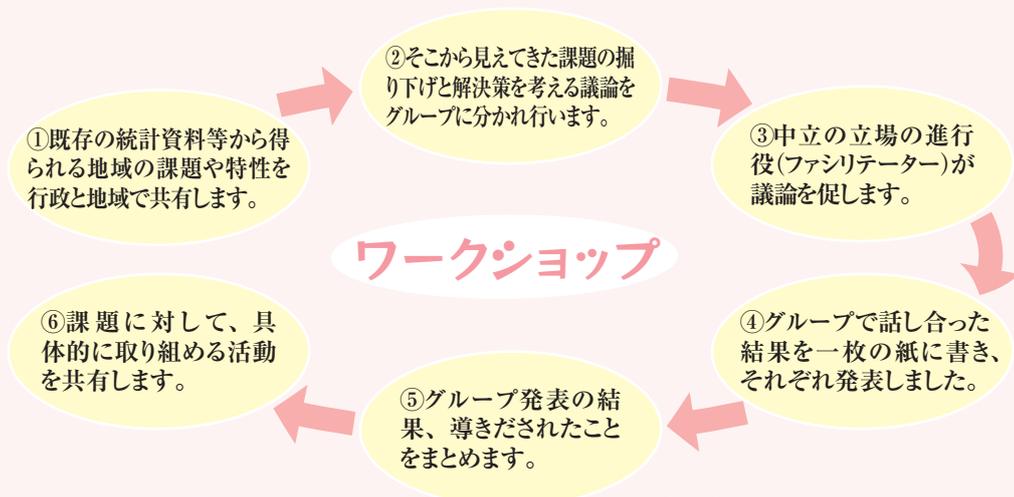
交通安全指導員連絡会
地区社会福祉協議会
PTA、父母の会など

地域の団体が集まりまちづくりを考える会が開催されました

これまで、個々の団体で活動することがほとんどでしたが一歩進んで、みんなで地域の課題を考えようという取り組みが始まっています。

去年は新発寒と稲積地区で、「新発寒のまちづくりを考える集い」と「稲積の安全安心を考える地域懇談会」としてまちづくりを考えるワークショップ形式の集まりが行われました。

当日はこのように進められました・・・



ワークショップって？

直訳すると「仕事場」、「作業場」という意味のワークショップ。

まちづくりワークショップでは、参加者がともに討議したり、体験するなどの協力作業を通じて、参加者がお互いの考え方や立場の違いを学び合いながら、提案をまとめる会議の手法として使われています。

↑これがきっかけとなり実際に、動き出した取り組み例を次に紹介します